



「ナモアミダブツ 南無阿弥陀仏はお喚び声」

慈光照護のもと、門信徒のみなさまには心静かに新年を迎えられたことと思います。

昨年は母の入院により、三国病院で新年を迎えるという経験をさせていただきましたが、すきま風で寒い西光寺とは違って、エアコンの効いた暖かい病室での正月はなかなか心地よく、簡易ベッドでもよく眠れたことを思い出します😊。今年は無事に寺で新年を迎えられました。しかし、怠惰さには拍車がかかり、この寺報を作っているのも3日というありさまで。こんな住職ですが、今年もよろしく願います。

今年の年賀状は懐かしいビクターのロゴマークを参考にさせて頂いたいただきました。この犬の亡くなったご主人の声である「His Master's Voice」を阿弥陀さまからのナモアミダブツのお喚び声に見立てて、「Amida's Voice」と書いてみました。まだ全部できてないので、年賀葉書も62円になってしまいうまには出したと思います。なんでこんな

新年のごあいさつを申し上げます。

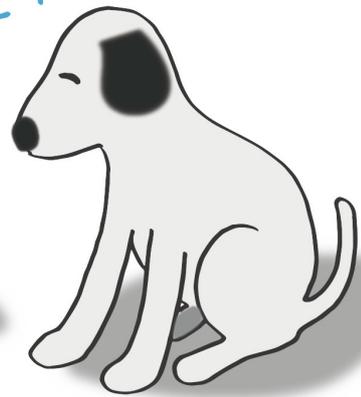
本年もよろしくおねがいたします。

2018

ナモアミダブツ



ブク最高時！
西光寺で



に『だら』なのか情けなくなります。

阿弥陀如来の「必ず救う」というお誓いが南無阿弥陀仏の六字のお名号みまなごとなつて私たちに今届いています。南無阿弥陀仏は如来の喚び声であるとともに、『仏』そのものであるから、私が「ナモアミダブツ」と声に

出してお念仏することは、今『仏』が私に届いて私の口を通してお出ましく下さっているとお念仏申す私たちは、いつでもどこでも阿弥陀如来のお働きに包まれて生きています。生きていれば、楽しいことも辛いことも、病気になることもあります。「なんで私だけがこんな……」と思いがちですが、みんなそうなんです。そして生きていくということとは、必ず死んでいくということでもあります。『死ぬこと』不幸であるならば、私たちは全員不幸になるということで、そんなはずはありません。『生老病死』は、この世に生を受けた生きとし生けるものすべてに当てはまり、富める者にも貧しい者にも一切に平等で例外はないという、お釈迦さまが教えてくださったことをそのままに受け止め、寝ても覚めても南無阿弥陀仏とお念仏申して今年もいのちある限り生きていきましよう😊。

寺報を作るのが遅くなったので、この機会に私が京都でお世話になった広島ひろしまの福岡義朝先生たけのくにからの年賀状を無断転載しようと思えます。先生の年賀状は毎年ご自分で描かれたものを印刷されていますが、いつも何とも言えないほっこりとした、いま目の前の出来事に苦しんでいるこの私も、もう阿弥陀さまのお救いの中にあつたんだ！と

気づかされます。先生とはブータンや敦煌たんとくにも一緒に旅をさせていただきました。

得取不捨

せつしゆふしや

迷子になった犬は
 自分が迷子であることも忘れ
 その日の食物を求めただけの
 野良犬になっていた。
 ある日 その犬は
 自分の名を叫ぶ
 声を聞いた。
 その瞬間
 その犬はもはや
 野良犬ではなかった。
 そして犬は言われた。
 自分の名を呼び続けた街方に
 しゅかりとハグをくれていたことば。

二〇一八年
一月一日



※撰取不捨とは阿弥陀如来の『おさめとつて決して捨てることのない』お働きを表した言葉です。ナモアミダブツ。

「年賀状について」

今年もご門徒のみなさまから年賀状をい

ただき有り難うございます。一昨年より寺からの年賀状は失礼させていただいております。どうかご理解いただき、今後は送つてくださらなくて結構かと存じます。

「微笑みの国へ」

なぜか遊あそぶ仏跡参拝することには熱心な住職ですが、今月、微笑みの国『タイ』に行かせていただくことになりました。仏教国として有名なタイですが、まだ行ったことがありませんでした。でも、タイ国際航空の飛行機には何度も乗りました。機内食も辛からかつたのと、キャビンアテンダントの方が乗客を合掌して迎えてくれたことが印象に残っています。インドでもタイでも合掌の姿は普通に見られますが、日本は一応仏教国と言われているのに、あまり合掌の姿を見かけることがありません。なんかお願いするときだけのようない気もします。そこでお願いですが、寺にいない間、お友達のお坊さんに月参りをお願いしました。関係のご門徒さまにはお願いの文書を入れてあります。ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願ひいたします。

「彼岸会の日程が決まりました」

今年の春の彼岸会の日程が決まっておりますのでお知らせいたします。どうぞカレンダーに書き込んでくださいね。あと、報恩

講は毎年変わらず10月16日と17日です。こちららもご記入くださいね。永代経と御正忌はまた決まり次第、ブログや寺報でお知らせいたします。春の彼岸会は

3月23日(金) 14時から

越前市徳泉寺住職

ご法話

本願寺派布教使

ふじした こうげん
藤下 晃厳 師です。

それから、今年は初めてカレンダーをちよつと大きくしてみました。今までは本願寺出版社から買っていました。今回別のところで買いました。東井義雄先生のお言葉がわかりやすく心に沁みるのと、書き込みができる方が便利かなと思つたからです。みなさんのご感想を聞いて、これからどうするか決めたいと思います。お仏壇の横に掛けていらつしやる方が多いので、大きすぎて困るといふご意見もあるかと思ひます。本願寺出版社からも「カレンダーの注文がまだです」となんと2回も電話がかかってきました。商魂たくましいです😊。今年もご門徒さまのPR号を同封しました。ご門徒さまの輪が広がることを念じております。

合掌

住職携帯 090-8967-17902

メール soichiro4989@gmail.com

ブログ 西光寺で最高時！